

**ターゲット 3.8** すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。

## 医療支援・マラリア予防

### アフリカ

### ニジェール

#### ①医療支援プロジェクト（移動診療所・衛生指導）

**概要：**ニジェールにおける死因のトップはマラリア。1997年よりマラリア撲滅のため、予防薬の寄贈と服用法の啓蒙活動を実施し、2000年より無医村での移動無料診療、薬を通常より安価に販売する薬箱の設置を進めてきた。不衛生な環境が病気の原因であるため、衛生指導も並行して実施している。2005年より、再度マラリア撲滅指導に取り組み、マラリア発生率の最も高い地域で医療支援活動とマラリア予防指導を展開している。

2006年より、マラリア予防には蚊を防ぐことが最優先だと考え、蚊帳（殺虫剤を練りこんでいない普通のもの）を薬と一緒に販売し、妊婦は優先的に安価に購入できるようにしている。

2013年以降はテロリストの活動がニジェールで活発に

なったことから派遣員は入国できず、現地スタッフのみで活動を実施。

#### 実施状況

##### 【2017】

5月15日、ティラベリ州コロ県レレヒ・ママン・ガナリ村で、3,000人の村民を対象に、無料診療と薬の無料配布を行った。386人が診療を受けた。村を管轄する地域の病院の医師と看護師が診察を行なった。診療結果は風邪が多く、腹痛、関節炎も見られた。マラリアは流行時期前で少なかったが、薬配布の際に水の衛生や、栄養補給、手洗いについてなど保健師がそれぞれに母親に指導を付け加えた。

##### 【2018】

7月から9月にニジェール南部のマラディ地域で深刻なコレラの大流行が発生した。累計患者数は3,692人で、68人が死亡した。そのため、この地域における移動診療と衛生指導は実施できなかった。

#### ②マデニタデタ村総合保健センター運営支援

**概要：**マラディ州マダロンファ県ガビ区マデニタデタ村に、周辺の5つの村を含めて約4,000人を診療対象に、国の政策の一環である総合保健センター（CSI：Centre de Sante Integre）建設の資金をWFPが提供し、2016年に保健省が建設を完了した。上級看護師が常駐している。

#### 進展状況

##### 【2017】

- 1月に医薬品を購入し、診療を開始。
- 5月にロッカー、机、椅子、などの備品を購入。さらにソーラーパネル、バッテリーを設置し、太陽光発電設備を整えて、診察室に電灯が灯り、診察がしやすくなった。
- 10月、センターが乳幼児を対象とするユニセフ支援の全国予防接種キャンペーンの会場となり、多くの母親たちが訪れた。  
予防接種の活動がしやすくなったと保健省から感謝の言葉を受けた。

##### 【2018】

- センターは、全国予防接種キャンペーンの際の会場に指定され、周辺地域から多くの人々が訪れ、建物に人が入りきれず、入口前に待合所を増設してほしいとの要望が出された。その要望に応じて、6月～8月の期間でトタン屋根を張り、床と備え付けの椅子はコンクリートで塗り固め、待合所を増設した。
- 2019年2月3日、2018年に移動診療のために準備した医薬品であったが、コレラ大流行などの諸事情により、移動診療活動が難しかったため、残された医薬品をセンターに寄贈した。センターでは医薬品が不足していたため、センター長からとても感謝された。



予防接種キャンペーンでセンターに集まった母子



新しく設置された待合所



## 目標 6

### すべての人々の水と衛生の利用可能性と 持続可能な管理を確保する

**ターゲット 6.1** 2030 年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。

**ターゲット 6.2** 2030 年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける。

## 衛生指導



手洗い指導



きれいになったトイレ



RSP 幼稚園での歯磨き指導

### アジア ミャンマー

#### 学校保健衛生・環境プロジェクト

**概要：**1998 年、保健省とタイアップして、小学校の公衆トイレ、給水タンク、手洗い場の建設開始。手洗いや歯磨きなどの衛生指導も実施。

#### 進展状況

##### 【2017】

- 8 月、テッサー小学校の生徒にハンカチをプレゼントし、青年たちと寸劇やペープサート（平面紙人形）を使って手洗い指導を実施。
- 11 月、テッサー小学校の約 70 人の児童にハンカチを配布し、里親と寸劇やペープサートを使い、手洗い指導を実施。爪のチェック、ばい菌の話をし、衛生について楽しく学ぶことができた。

##### 【2018】

- 6 月、ニャンドン地区小学校分校「ティンゴン小学校」でトイレを建設。
- 8 月、テッサー小学校のトイレを修繕し、手洗い場を水槽式から蛇口式に改築。
- 11 月、手洗い指導をテッサー小学校 66 人の児童を対象に実施。

### オセアニア ミクロネシア

#### 保健衛生指導プロジェクト

**概要：**歯科衛生に力を入れているポンペイ州の小学校の保護者から歯ブラシの要望があり、2008 年よりネット、ウー、ソーケスの 3 地区、2016 年よりキティ地区も入り、4 地区の小学校へ歯ブラシ配布と水だけで行う歯みがき指導を実施している。

#### 進展状況

##### 【2017】

- ソーケス RSP 幼稚園、アワック小学校、ラワティック小学校にて 107 人の児童に歯磨き指導を実施。また、ぬり絵、工作指導も行った。
- 日本の歯ブラシメーカーの協力により 11,200 本の歯ブラシの支援を行なった。

##### 【2018】

- ソーケス RSP 幼稚園、アワック小学校、ラワティック小学校、サラボック小学校、オーミネ小学校にて 205 人の児童に歯磨き指導を実施。虫歯予防と歯磨き指導の紙芝居を使用した。
- 日本の歯ブラシメーカーの協力により 11,200 本の歯ブラシの支援を行なった。

## 安全な水の利用確保



### アフリカ ニジェール

#### 井戸修復プロジェクト

**概要：**僻地の村の井戸は屋根もなく、野ざらしであり、古い井戸は廻りの壁にカビや苔が生えて非常に不衛生な状態である。さらに大きな井戸では井戸水を汲み

上げる際に、井戸の縁に立って桶の皮袋を吊り下げるので、子どもが中に落ちる事故も起きている。井戸の危険で不衛生

な状態を改善して、村人に安全できれいな水を供給できるように、井戸をポンプ式に改修することにした。

#### 進展状況

**【2017】** マラディ州環境衛生局に依頼して、井戸改修予定地を選定していただき、11 月半ばから 12 月初旬にかけて、マラディ州 マダロンファ県セルキン・ヤンマ区ガリンブーゼ村で、村の井戸 1 基をポンプ式井戸に改修した（左写真）。